巻　末　資　料

ボーリング柱状図

ボーリング柱状図

調査名	君津環境整備センター 1期計画に係る地質調査	ボーリングNo.	No. 1
事業・工事名			

ボーリング名	No. 1	調査位置	千葉県君津市怒田地先			北緯	
発注機関	新井総合設計株式会社		調査期間	平成24年1月12日～24年2月23日		東経	
調査業者名	[redacted]	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	TP +244.06m	角度	水平 上 下	方向	北 西 南 東	地質勾配	度	使用機種	試験機	YSD 1型
総掘進長	90.00m								エンジン	ポンプ

シートNo.

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
	243.06	1.00		表土	黒～褐						腐食物含むシルト質砂砂。
1	242.56	1.50		砂岩	褐	D	3	a	3	1	粒径で非常に崩れやすい。角度3°傾倉の層理面みられる。下部との境界は明瞭。
2	242.11	2.00		泥岩	灰黒	C	3	a	3	1	均質で硬い。概ね均質な泥岩である。また腐食物片を含む。層理面は不明瞭。破質。
3	240.56	3.50		泥岩	灰褐 暗灰褐	C	3	a	3	1	4.85～4.95mに白色の板を含む。
4					灰褐						
5	239.11	4.95		砂質	褐灰	D	3	a	a	1	粒径で崩れる。層理はほぼ水平・密着
	238.95	5.11		泥岩	灰	C	3	a	a	1	泥岩の帯を含む
	238.35	5.71		砂質	褐灰	C	3	a	a	1	層理面が不明瞭。概ねで破質。
6					灰褐						
7					暗灰						・全体に30～40cmの柱状コアを採する。割れ目少なく良好である。 ・層理面は不明瞭である。
8											
9	236.11	8.45		泥岩	灰褐	C	1	a	a	1	・まれに幅1～3mの褐色砂岩をはさみ、その厚さは10～20cm程で発達。(16.00～2.05m、8.00～8.00m間に砂岩)
10	234.84	10.40			暗灰褐						・10.40m付近に角度40度の割れ目、割れ目面は褐色化。
11					褐 暗灰						・12.20mに角度20°の割れ目、褐色化。
12	231.91	12.35			褐						
13	231.71	12.55		砂質	褐灰	D	1	a	a	1	砂岩主体であるが、泥岩とは層厚数mm～泥岩薄層に分離する。層界の砂岩部は硬質であるが、中心部（12.70～12.90m）は非常にゆるい状態。
14				泥岩	暗褐	C	1	a	a	1	概ね均質な泥岩であるが、局部的に砂岩の薄層を挟む（13.70m付近）。層理面は水平である。15.10～15.20mに虫食い状に砂岩を挟む。
15	229.16	15.00									
16	227.66	16.40		砂質・泥岩互層	褐灰	D	1	a	a	1	整然とした互層ではなく、指交関係～虫食い状になる。上部砂岩の漸移部。
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24				砂	褐	D	1	a	a	1	均質な中粒砂からなり、淘汰良好。19.55m、21.20m、22.60m、30.20mに細[illegible]

コア採取率 岩級区分 (%) 最大コア長 cm RQD [%]

孔内水位 m／測定月日

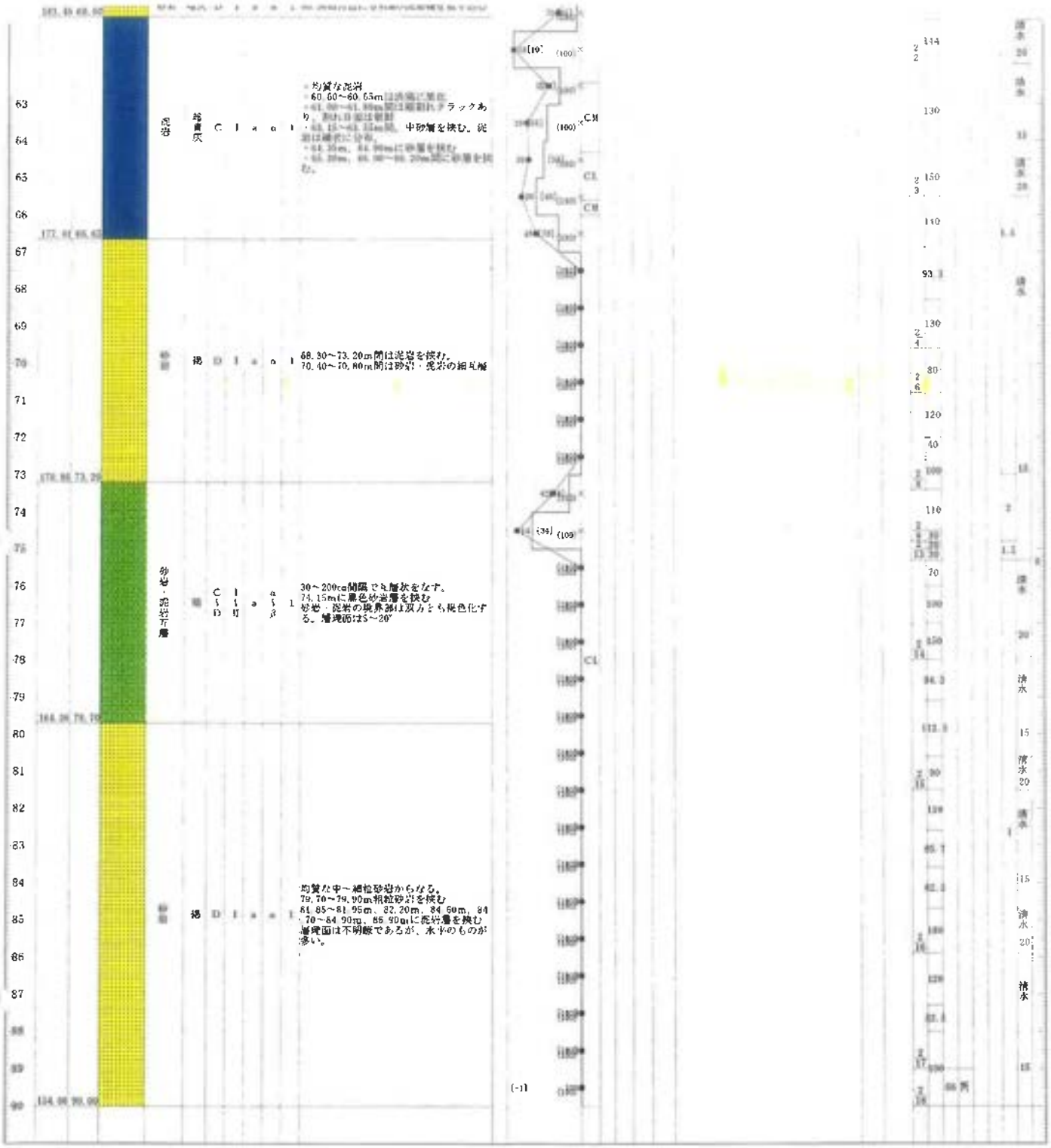
（ルジオン、標準貫入）試験 （P～Q、N値～深度）図

原位置試験（ ） 室内試験（ ）

掘進状況

深度 m	掘進速度 (m/時)	孔径 (mm)	孔壁保護	コアチューブ／ビット	給水	回転数 (rpm)	送水圧 (kPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									

25		砂岩	褐灰	D	I	a	a	1	均質な中粒砂岩からなり、淘汰良好。19.55m、21.20m、22.65m、30.20mに幅5～10cmの[illegible]を含む。 局部的に褐色変化部あり。（19.45m、21.45m）
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32	211.81.32.81	泥岩	淡灰	D	緻	a	a	1	均質な泥岩。下部との境界はギザギザ状・水平。
33	211.11.33.91 211.81.33.21	砂岩 泥岩	褐灰 淡灰	D C	I 緻	a a	a a	1 1	均質な中粒砂岩。下部との境界は褐色化 、境界は水平。 均質。下部との境界は凡変化・密着
34		砂岩	褐灰	D	I	a	a	1	均質。不明瞭だが水平に近い層理面あり。
35	208.41.35.81								
36	207.61.36.41	泥岩	淡灰	C	I	a	a	1	均質な泥岩で硬い。
37		砂岩	褐灰	D	I	a	a	1	36.45～36.90m間は5～10cmの泥岩円礫を混入する。礫の周縁は1mm程度褐色化。
38	205.71.38.31								
39	205.29.38.89	泥岩	赤褐	C	緻	a	a	1	均質な泥岩。38.50～38.55m間に砂岩を挟む。
40									
41									
42									
43									
44									
45									
46									
47									
48		砂岩	褐灰	D	I	a	a	1	・38.60～39.00m間は漸移帯で泥岩礫。 ・全体に均質な中粒砂岩主体である。 ・39.40m付近φ1cmで角がん礫を含む。
49									・47.90～48.05m間、φ5～10mmの泥岩礫を多く含む。 ・48.30mに泥岩礫含む。 49.00～49.25m、49.45～49.50m間は粗粒砂岩状。
50									
51									
52									
53									
54									
55									
56									
57									
58									
59	194.41.59.91								
60	194.01.60.01	泥岩	淡褐	C	緻	a	a	1	均質
	193.46.60.86	砂岩	褐灰	D	I	a	a	1	60.50m付近にφ8cmの泥岩礫を取り込む
61									
62									・均質な泥岩 ・60.60～60.65mは砂礫に変化


63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
泥岩
砂岩
砂岩・泥岩互層
砂岩
Clay
Clay
Clay
均質な泥岩
60.60～60.65mは透水に富む
61.00～61.80m間は破砕れテラックあり、割れ目は開
63.15～63.35m間、中砂層を挟む。泥岩は縦状に分布。
64.35m、64.90mに砂層を挟む
65.20m、65.90～66.20m間に砂層を挟む。
68.30～73.20m間は泥岩を挟む。
70.40～70.80m間は砂岩・泥岩の細互層
30～200cm間隔で互層状をなす。
74.15mに黒色砂岩層を挟む
砂岩・泥岩の境界面は双方とも褐色化する。層理面は5～20°
均質な中～細粒砂岩からなる。
79.70～79.90m粗粒砂岩を挟む
81.85～81.95m、82.20m、84.60m、84.70～84.90m、85.90mに泥岩層を挟む
層理面は不明瞭であるが、水平のものが多い。
(100)
CM
CL
(109)
(34)
(-1)
114
130
150
110
93.1
130
80
120
40
100
110
70
100
120
84.3
112.1
15
20
15
20
15
清水

ボーリング柱状図

調査名　君津環境整備センター三期計画に係る地質調査　　ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.2	調査位置	千葉県君津市怒田地先			北緯	
発注機関	新井総合施設株式会社			調査期間	平成24年1月28日～24年2月4日	東経	
調査業者名	[redacted]	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者 [redacted]	ボーリング責任者 [redacted]
孔口標高	TP +174.16m	角度	上 90° 水平 0°	方向	0° 90° 180° 270°	地盤勾配	使用機種
総掘進長	20.00m					試錐機	YBM-05
						エンジン	ポンプ

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
1				砂岩	灰褐	w	I	x	x	1	灰褐色を呈する均質な細粒砂岩。無水で掘進可能。コアは指圧で容易に崩れる。2.40～2.55m 泥岩を挟む。
2	173.31	2.85									
3				砂岩	青灰	w	I	x	x	1	中～細粒の砂岩、比較的均質だが、木片を時々含む。コアは清水で流失しやすい。3.80m付近、4.00～4.15m 木片混入。4.50～4.70m やや細粒となる。
4	169.46	4.70									
5				砂岩	暗～黒灰	w	I	x	y	1	均質な中粒砂岩。極軟コアで採取されるが、指圧で容易に崩せる。
6	167.93	6.23									
	167.45	6.71		泥岩	暗灰～黒灰	m	I	x	y	1	灰、黒灰、青灰色と色調は様々、層状に砂岩を挟む。砂岩との境界は傾斜10°程度。
7				砂岩	灰～暗灰	w	I	x	y	1	中粒砂岩を主体とするが、部分的に層状に細粒砂岩や泥岩を挟む。6.55m付近、傾斜10°で泥岩薄層を挟む。7.85m付近、傾斜20°で泥岩を幅2cmで挟む。
8											
9											
10	163.86	10.30									
	163.31	10.85		泥岩	暗灰～青灰	m	I	x	y	1	暗い青灰色を呈し層理である。下部18cmは変化し暗灰色を呈する。10.70～10.80m 傾斜5～20°で砂岩を挟む。その砂岩は暗い暗灰色に変化。
11				砂岩	青灰～暗灰					0	11m付近に泥岩を時々挟む他は比較的均質な中粒砂岩。青灰色を呈し層理。11.00～11.10m、幅5cmで泥岩を挟む。
12	161.71	12.45									
13				砂岩	暗灰～青灰	w	I	x		1	暗灰色の砂岩を主体とする。部分的に青灰色や暗色となる。砂岩の粒径はほぼ均一。泥岩を時々層状に挟む。13.30～13.40m 幅10cmの泥岩。泥岩は青灰色を呈するが、表面付近は暗色に変化。13.60m付近 幅3cmで泥岩を挟む。14.60～14.80m 青灰色の砂岩。14.80～15.00m 青灰色の泥岩を挟む。
14									y		
15											
16											
17											
18											
19											
20	154.16	20.00									

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]　岩級

孔内水位m／測定月日：1/30 1.83m

（ルジオン、標準貫入）試験（P～Q、N値～深度）図

原位置試験（ ）：現場透水試験

室内試験（ ）

掘進状況：掘進速度（m/時）、掘進速度（m/分）、孔壁保護、コアチューブ／ビット、給圧（kg）、回転数（rpm）、送水圧（kg）、排水量（l/分）

ボーリング柱状図

調査名	君津環境整備センター三期計画に係る地質調査		ボーリングNo.
事業・工事名			

ボーリング名	No.3	調査位置	千葉県君津市怒田地内			北緯	シートNo.
発注機関	新井総合設計株式会社		調査期間	平成24年1月16日～24年1月23日		東経	
調査業者名	[redacted]	主任技師	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者 [redacted]
孔口標高	+205.07m	角度	方向	地盤勾配	使用機種	試錐機	YBM-05DA2
総掘進長	40.00m					エンジン	MPD 2 ポンプ

標尺	標高	深度	性状図	岩種区分	色調	硬軟	コア状態	割れ目の状態	風化	変質	記事
	203.47	1.60		砂岩	褐	D	I	a	β	1	強風化しており軟質でシルト化する。
1											
2				砂岩	褐	D	I	a	β	1	均質な中粒砂岩，指圧で容易に割れる。
3											
4	201.32 / 201.12	3.75 / 3.95		泥岩	淡褐	D	II	a	β	1	幅1cmの砂岩層を挟む。
	203.47	4.60		砂岩	淡褐	D	I	a	β	1	粗粒砂岩で，泥岩礫を多く含む
5											
6				砂岩	暗灰	D	I	a	β	1	均質な砂岩からなる，他の泥岩との境界は凹凸あり。
7	201.12	5.95									
	200.97	6.10		泥岩	淡灰	C	I	a	β	1	層理面はほぼ水平、
8				泥岩	淡灰	C	III	a	β	1	破砕あり、割れ目黄褐色化。
				泥岩	褐	D	I	a	β	1	
9	199.62	7.55		砂岩							下盤との境界はイレギュラー。
	199.32	7.85		泥岩	暗灰	C	I	a	β	1	境界はほぼ水平
	199.22	7.95		砂岩	褐	C	I	a	β	1	下盤との境界は3°
10				泥岩							
	198.87	8.30		砂岩	褐	D	I	a	β	1	中粒砂岩からなり、均質
11				泥岩	淡灰	C	II	a	β	1	
12											
13											
14											
15				砂岩	淡褐	D	I	a	β	1	均質な細～中粒砂岩からなるが、泥岩を薄状または礫状に挟む。泥岩の境界は褐色に変化を受ける。
16											
17											
18											
	186.37	18.70									
19				泥岩	褐	C	I	a	β	1	泥岩主体で幅3センチ程度の砂岩を挟む。19.00～19.20mは層理面水平な破砕層をなす。19.85～19.90mは砂岩を挟む。
20	184.87 / 184.77	20.20 / 20.30		砂岩							
	184.57	20.50		砂岩	淡灰～褐	D	II	a	β	1	
21				泥岩	褐灰	C	II	a	β	1	21.25～21.80m間に破砕目が発達，開口して周辺は褐色に変化する。
22	182.72	22.35									
23				砂岩	褐灰	D	I	a	β	1	24.15mに幅5cmの泥岩を挟む。層理面3°下部との境界は削り込みがありイレギュラー。
24											

コア採取率 (%) 最大コア長 cm 岩級区分 (%)

孔内水位 m / 測定月日

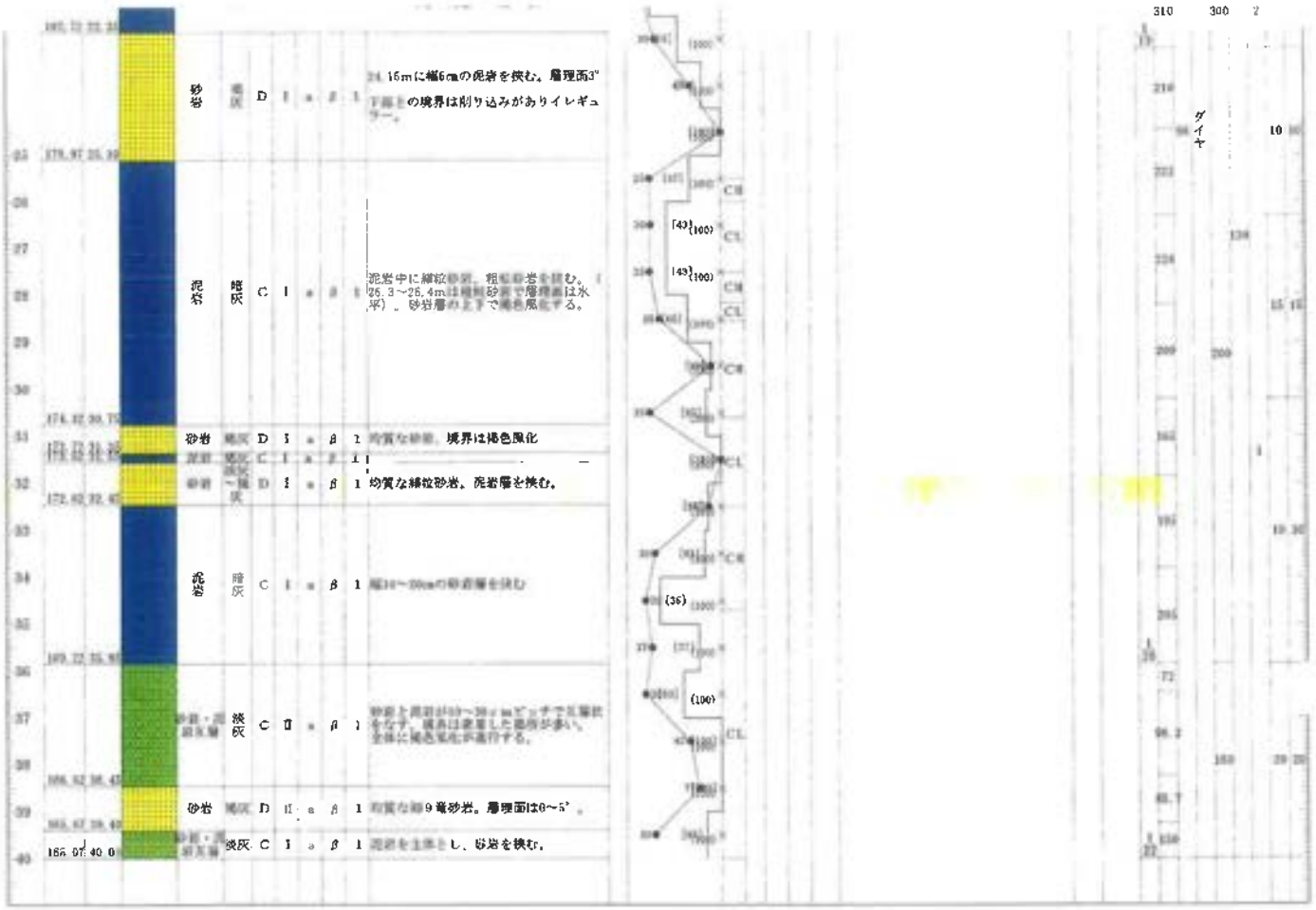
(ルジオン、標準貫入) 試験 (P～Q, N値～深度) 図

原位置試験 ( )

室内試験 ( )

掘進状況: 掘進速度 (分/30cm)、孔径 (mm)/表層保護、コアチューブ/ビット、回転数 (rpm)、送水圧 (kPa)、排水量 (l/分)

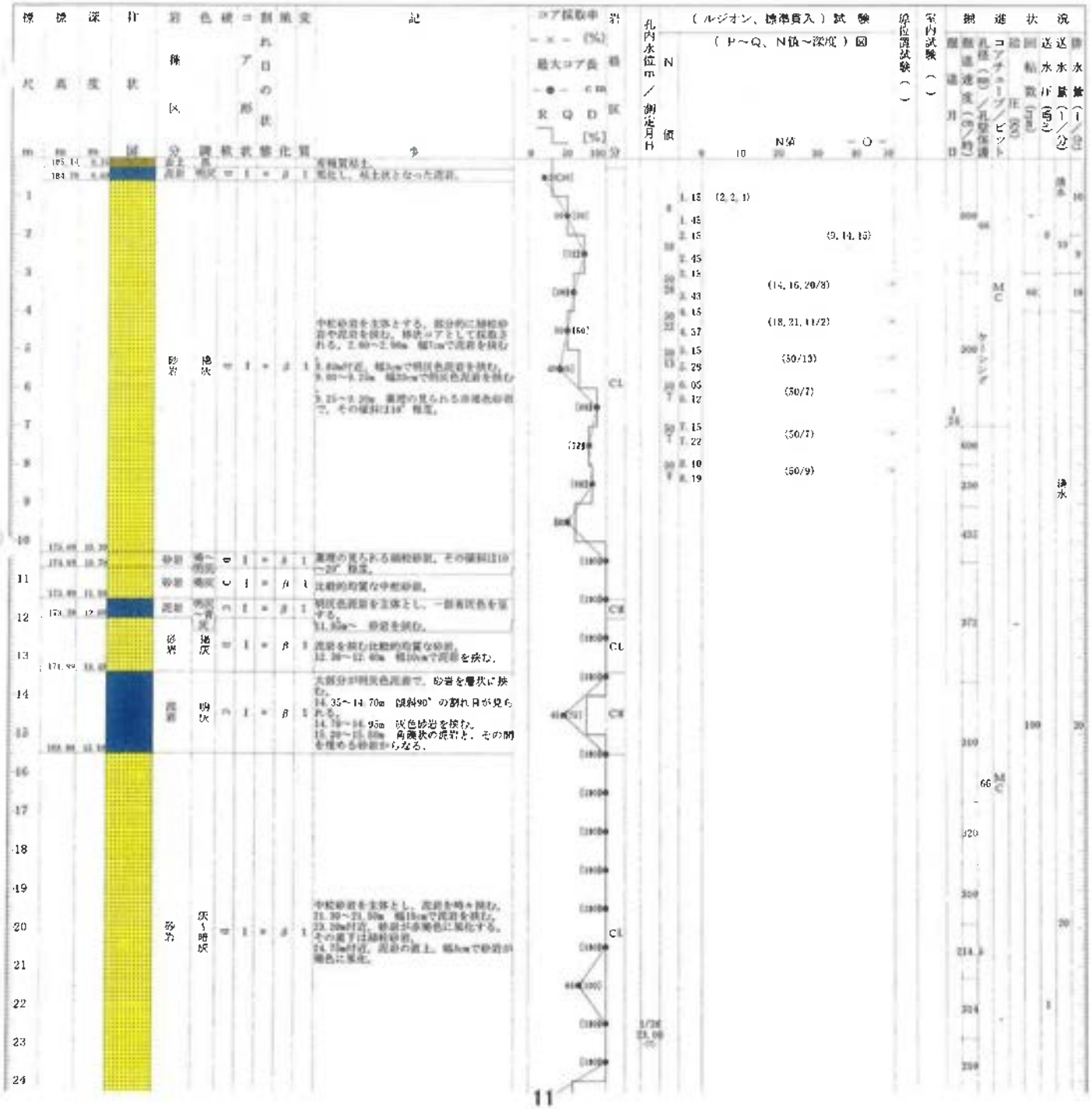
深度	掘進速度 (分/30cm)	孔径 (mm)/表層保護	コアチューブ/ビット	回転数 (rpm)	送水圧 (kPa)	排水量 (l/分)
1.00	1.15	ケーシング				無水
1.45						
2.00	2.15					
2.45						
3.00	3.15	ケーシング				
3.45						
4.00	4.15				60.2	5
4.45						
5.00	5.15					
5.25						
6.00	6.15					
6.25						
7.00	7.15					
7.42						2
8.00	8.15					
8.24						
9.00	9.03					
9.12						
10.00	10.15					
10.23						

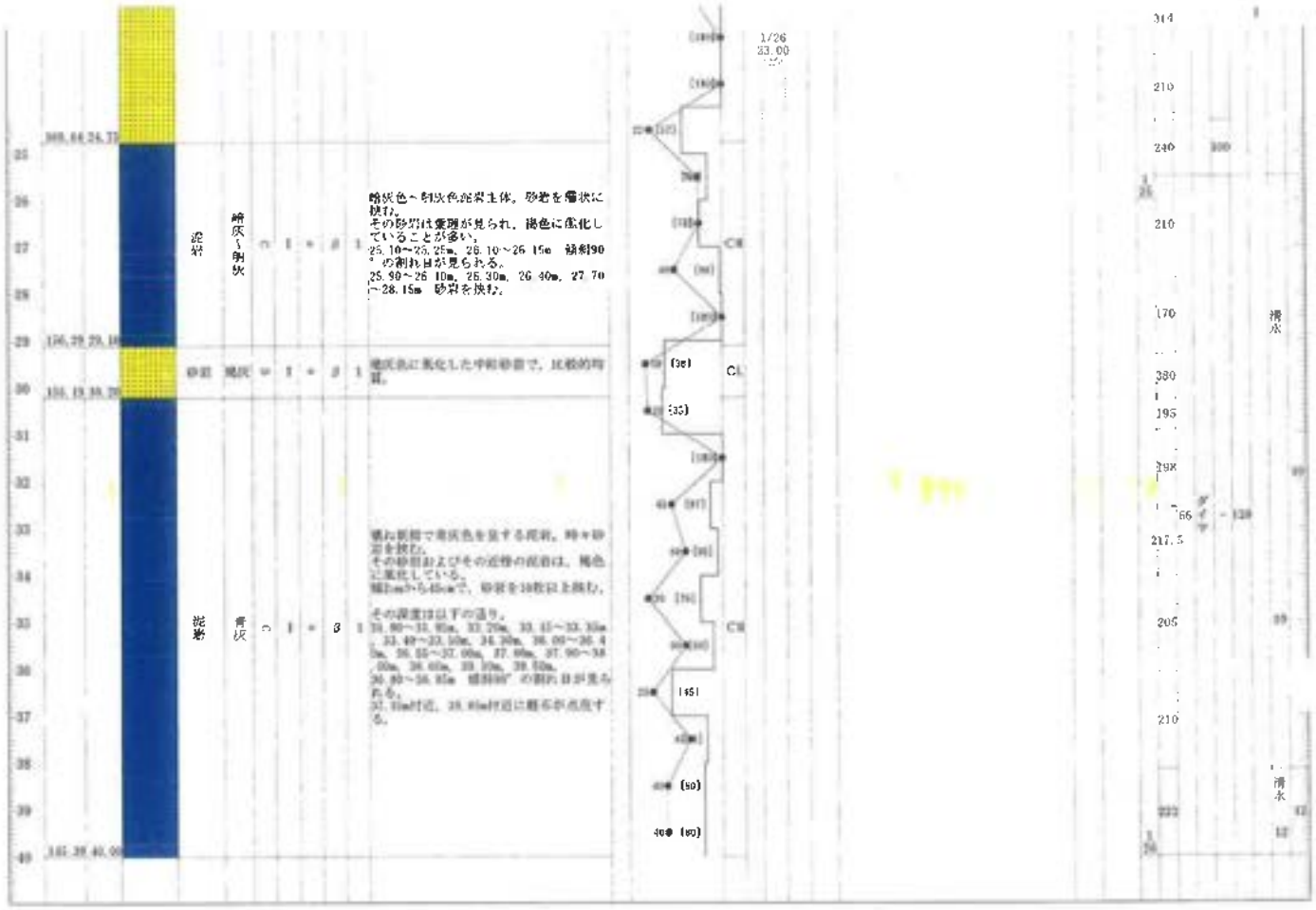

砂岩
暗灰
D
泥岩
暗灰
C
砂岩
暗灰
D
泥岩
暗灰
C
砂岩
暗灰
D
砂岩・礫岩互層
淡灰
C
砂岩
暗灰
D
砂岩・礫岩互層
淡灰
C
ダイヤ

ボーリング柱状図

調査名	君津環境整備センター三期計画に係る地質調査		ボーリングNo.
事業・工事名			

ボーリング名	No.4	調査位置	千葉県君津市惣田地先		北 緯
発注機関	新井総合施設株式会社		調査期間	平成24年1月24日～24年1月27日	東 経
調査業者名	[redacted] 主任技師 [redacted]		現場代理人 [redacted]	コア鑑定者 [redacted]	ボーリング責任者 [redacted]
孔口標高	T.P. +185.39m	角度 上 90° 下 0°	方向	地盤勾配	使用機械
総掘進長	40.00m		試験機	YBM-05DA2	
			エンジン	MFD-9	ポンプ




泥岩
暗灰～明灰
暗灰色～明灰色泥岩主体。砂岩を層状に挟む。
その砂岩は変質が見られ，褐色に変化していることが多い。
25.10～25.25m，26.10～26.15m 傾斜90°の割れ目が見られる。
25.90～26.10m，26.30m，26.40m，27.70～28.15m 砂岩を挟む。
砂岩
暗灰
暗灰色に変化した中粒砂岩で，比較的均質。
泥岩
青灰
薄い部分で青灰色を呈する泥岩。時々砂岩を挟む。
その砂岩およびその近傍の泥岩は，褐色に変化している。
幅1mから40mで，砂岩を10枚以上挟む。
その深度は以下の通り。
31.90～31.95m，32.20m，32.45～32.55m，33.40～33.50m，34.20m，36.05～36.45m，36.55～37.00m，37.60m，37.90～38.00m，38.60m，39.10m，39.50m，39.90～39.95m 傾斜90°の割れ目が見られる。
37.70m付近，38.40m付近に礫を多く含む。
CL
1/26
33.00
滑水

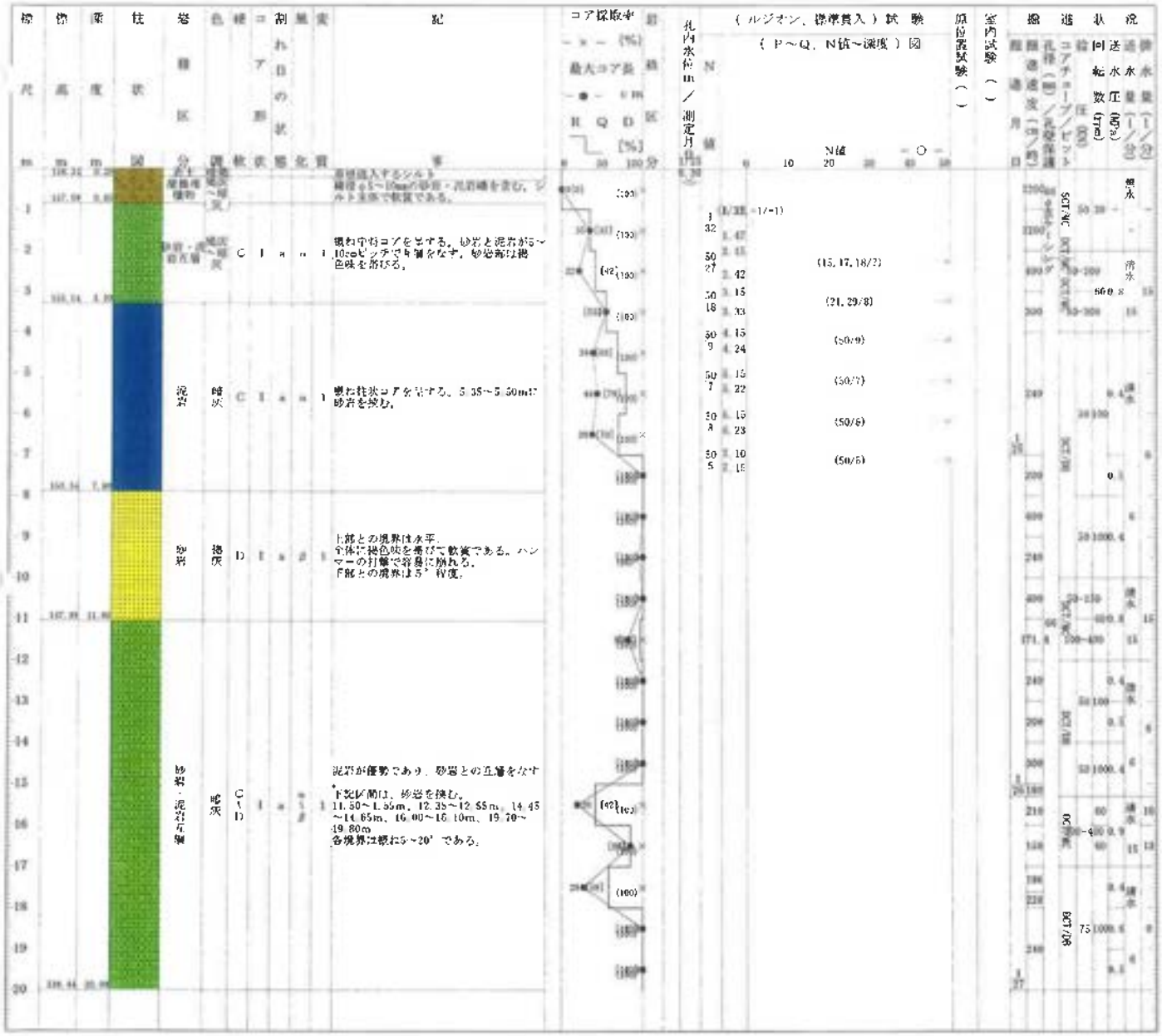
ボーリング柱状図

調査名　君津環境整備センター二期計画に係る地質調査　　ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.5	調査位置	千葉県君津市粟田地先		北緯
発注機関	新井総合施設株式会社		調査期間	平成24年1月23日～24年1月28日	東経
調査業者名	[redacted]	主任技師	[redacted]	現場代理人 [redacted]	コア鑑定者 [redacted]	ボーリング責任者 [redacted]
孔口標高	TP +158.44m	角度 上 0° 下 0°	方向	地盤勾配 水平 0° 垂直 90°	使用機械	試錐機 YBM-05
総掘進長	20.00m					コンジン　ポンプ



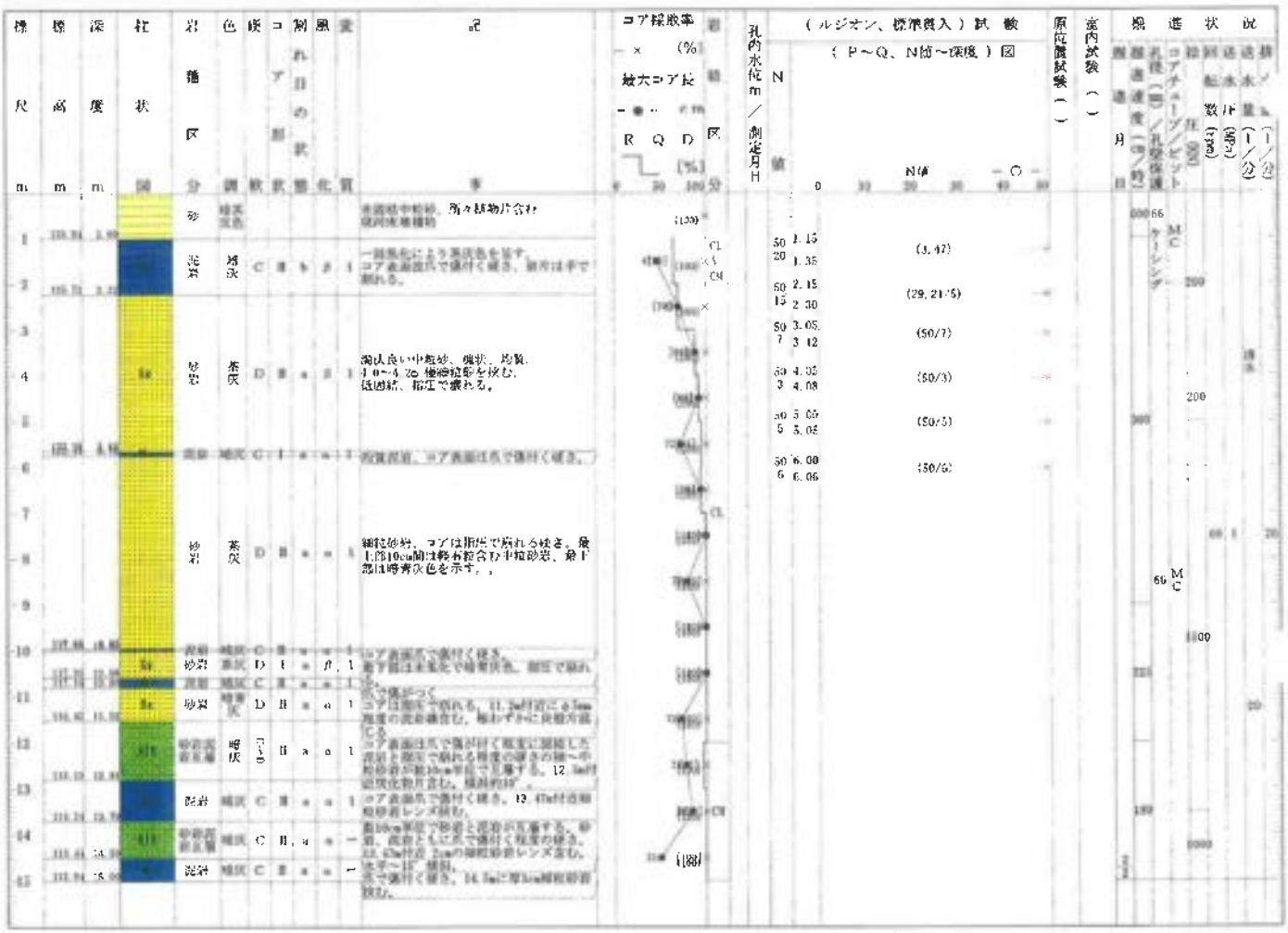
ボーリング柱状図

調査名　君津環境整備センター三期計画に係る地質調査　　ボーリングNo.

事業・工事名

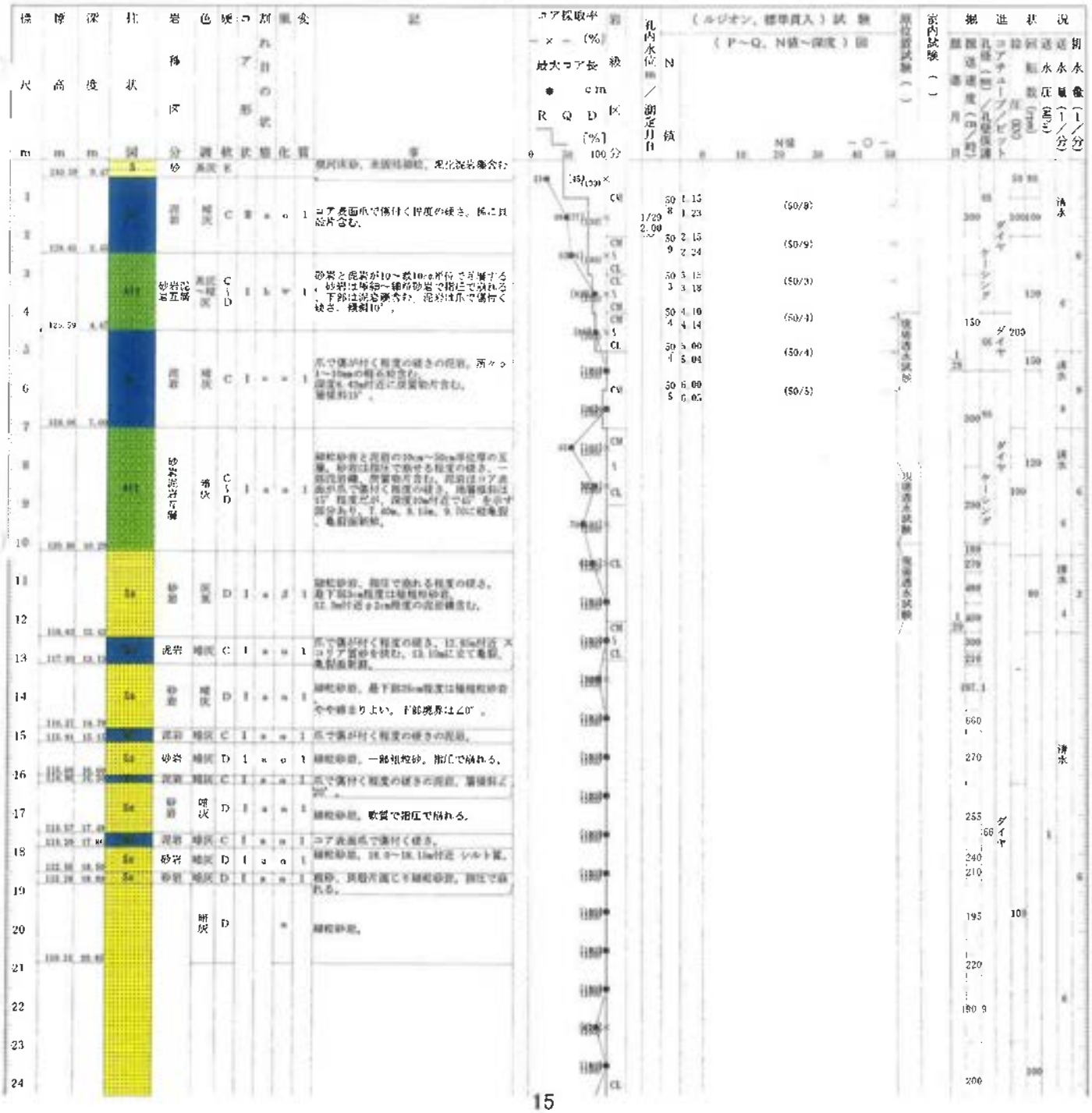
シートNo.

ボーリング名	No.6	調査位置	千葉県君津市怒田地先		北緯
発注機関	新井総合施設株式会社	調査期間	平成24年2月2日～24年2月4日		東経
調査業者名	[redacted] 十任技師 [redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者 [redacted]	ボーリング責任者 [redacted]
孔口標高	+127.94m	角度	90°	方向	地盤勾配
総掘進長	15.00m	試錐機	YBM-05DA2		使用機種
		エンジン	MFD-9	ポンプ	



ボーリング柱状図

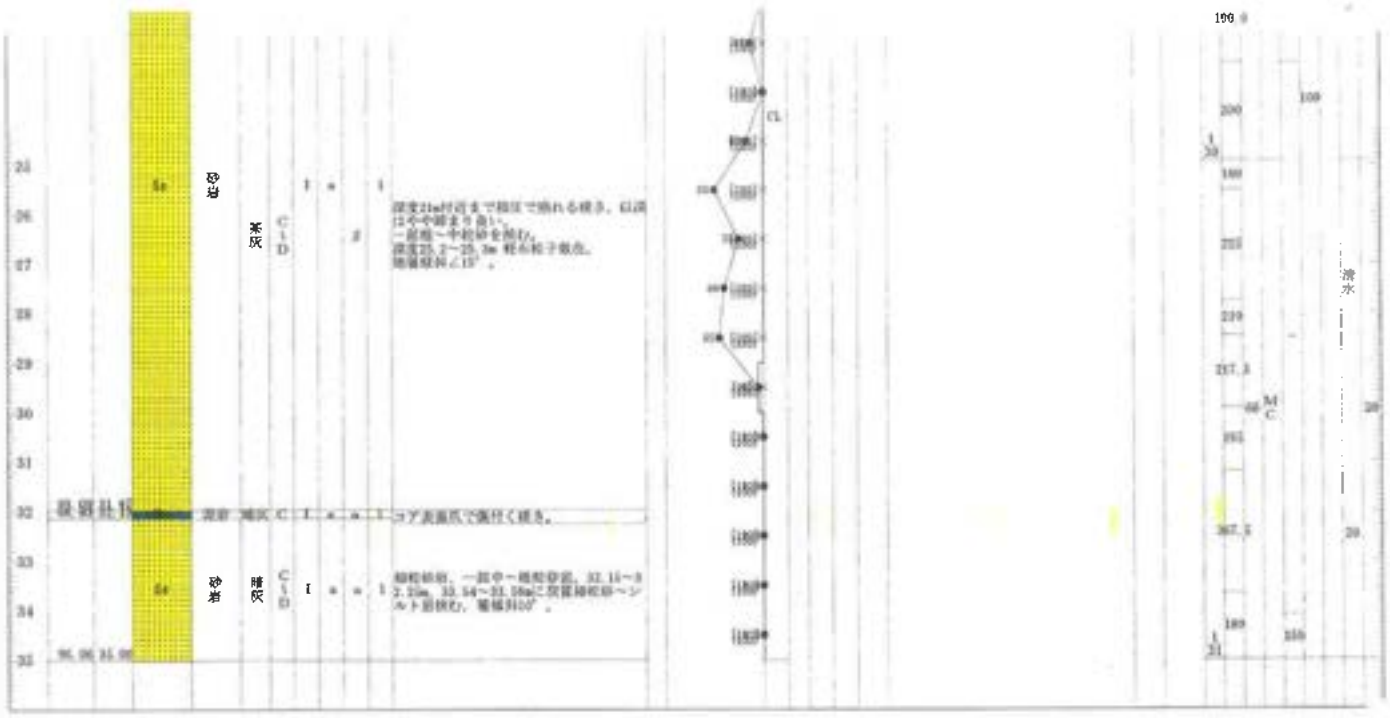
調査名	君津環境整備センター三期計画に係る地質調査			ボーリングNo.	
事業・工事名				シートNo.	
ボーリング名	No.7	調査位置	千葉県君津市怒田地先	北緯	
発孔機関	新井総合施設株式会社	調査期間	平成24年1月28日～24年2月1日	東経	
調査業者名	[redacted]	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]
コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]		
孔口標高	TP +131.06m	試錐機	YBM-05DA2		
総掘進長	35.00m	エンジン	NFD-9	ポンプ	



標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	記事
130.59	0.47	S	砂	黒灰		旧河床砂、亜円礫細粒、風化泥岩礫含む
[illegible]	[illegible]	Ms	泥岩	暗灰	C	コア表面爪で傷付く程度の硬さ。稀に貝殻片含む。
125.59	[illegible]	Alt	砂岩泥岩互層	黒灰～暗灰	C～D	砂岩と泥岩が10～数10cm単位で互層する。砂岩は極細～細粒砂岩で指圧で崩れる。下部は泥岩優勢で、泥岩は爪で傷付く硬さ。傾斜10°。
[illegible]	[illegible]	Ms	泥岩	暗灰	C	爪で傷が付く程度の硬さの泥岩。所々に1～10mmの[illegible]を含む。[illegible]付近に[illegible]を含む。傾斜約10°。
[illegible]	[illegible]	Alt	砂岩泥岩互層	暗灰	C～D	細粒砂岩と泥岩の10cm～30cm単位層の互層。砂岩は指圧で崩れる程度の硬さ。[illegible]
[illegible]	[illegible]	Ss	砂岩	暗灰	D	細粒砂岩、指圧で崩れる程度の硬さ。最下部5cm程度は極細粒砂岩。12.3m付近φ2cm程度の泥岩礫含む。
[illegible]	[illegible]	Ms	泥岩	暗灰	C	爪で傷が付く程度の硬さ。[illegible] コア[illegible]。13.10mにて亀裂、亀裂面新鮮。
[illegible]	[illegible]	Ss	砂岩	暗灰	D	細粒砂岩、最下部25cm程度は極細粒砂岩。やや締まりよい。下部境界は∠0°。
[illegible]	[illegible]	Ms	泥岩	暗灰	C	爪で傷が付く程度の硬さの泥岩。
[illegible]	[illegible]	Ss	砂岩	暗灰	D	細粒砂岩、一部粗粒砂。指圧で崩れる。
[illegible]	[illegible]	Ms	泥岩	暗灰	C	爪で傷付く程度の硬さの泥岩。層傾斜∠[illegible]°。
[illegible]	[illegible]	Ss	砂岩	暗灰	D	細粒砂岩、軟質で指圧で崩れる。
[illegible]	[illegible]	Ms	泥岩	暗灰	C	コア表面爪で傷付く硬さ。
[illegible]	[illegible]	Ss	砂岩	暗灰	D	細粒砂岩、[illegible]付近 シルト質。
[illegible]	[illegible]	Ss	砂岩	暗灰	D	[illegible]細粒砂岩、指圧で崩れる。
[illegible]	[illegible]	Ss		暗灰	D	細粒砂岩。

孔内水位 1/29 2.00

N値	深度 m	試験
50 8	1.15 1.23	(50/8)
50 9	2.15 2.24	(50/9)
50 3	3.15 3.18	(50/3)
50 4	4.10 4.14	(50/4)
50 4	5.00 5.04	(50/4)
50 5	6.00 6.05	(50/5)


Sr
砂質
沖積
C
1
D
I
a
1
深度21m付近まで粘土で挟れる様子。石灰は小や硬まり良い。
一部粗～中粒砂を挟む。
深度25.2～25.3m 軽小粒子散在。
地層傾斜∠15°。
最深掘削
深部 地区 C I a 1 コア表面で気付く様子。
Sr
砂質
沖積
C
1
D
I
a
1
粗粒砂岩、一部中～粗粒砂岩。32.16～32.33m、32.54～32.58mに炭質粗粒砂～シルト挟む。傾斜∠10°。
95.96 31.96
CL
100.0
200
100
180
210
210
217.3
M
C
191
207.3
20
20
180
110
清水

ボーリング柱状図

調査名　君津環境整備センター増設工事　　ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.8	調査位置	千葉県君津市怒田地先		北緯
発注機関	新井総合施設株式会社		調査期間	平成24年1月30日～24年2月1日	東経
調査業者名	[redacted]	主任技師	[redacted]	現場代理人 [redacted] コア鑑定者 [redacted]	ボーリング責任者 [redacted]
孔口標高		仰角	方向	地盤勾配	使用機種
総掘進長	6.95m				

試験機	YBM-05	ハンマー落下用具	平自動落下装置
ユンジン		ポンプ	

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対度	相対度	記事	孔内水位m／測定月日	深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
		0.90	0.90		砂	黄灰			粒子はほぼ均一な砂。		0.60					
1					産廃土	黒			産廃ゴミ主体。プラスチック片、繊維等が混じる。基質は半固結状のシルトである。		0.80	2	2	6	10	10.0
											1.00	3	2	4	5	8.0
2											1.20	3	4	11	30	
		1.90	2.80								1.40	2	3	3	9	7.5
3		0.70	3.50		砂	黄灰			均質な砂層。		1.60	2	3	7	12	8.0
											1.80	10	12	18	30	10.0
4					産廃土	黒			産廃ゴミ上体。若干の砂質シルト分含む。		2.00	7	9	11	27	10.0
											2.20	5	8	12	20	10.0
5		1.90	5.40								2.40	14	16	20	36	10.0
											2.60	11	9	11	31	10.0
6		0.70	6.10		砂	黄灰			粒子はほぼ均一。		2.80	3	4	4	11	11.0
											3.00				30	
					産廃土	黒			産廃ゴミ主体。プラスチック片等を多く混入。		3.20	7	11	13	31	10.0
											3.40				30	
											3.60	8	8	7	23	10.0
											3.80	12	11	11	30	10.0
		0.85	6.95		砂	黄灰			粒子はほぼ均一な砂からなる。		4.00				30	

原位置試験：試験名および結果

試料採取：深度 m／試料番号／採取方法

室内試験（　）

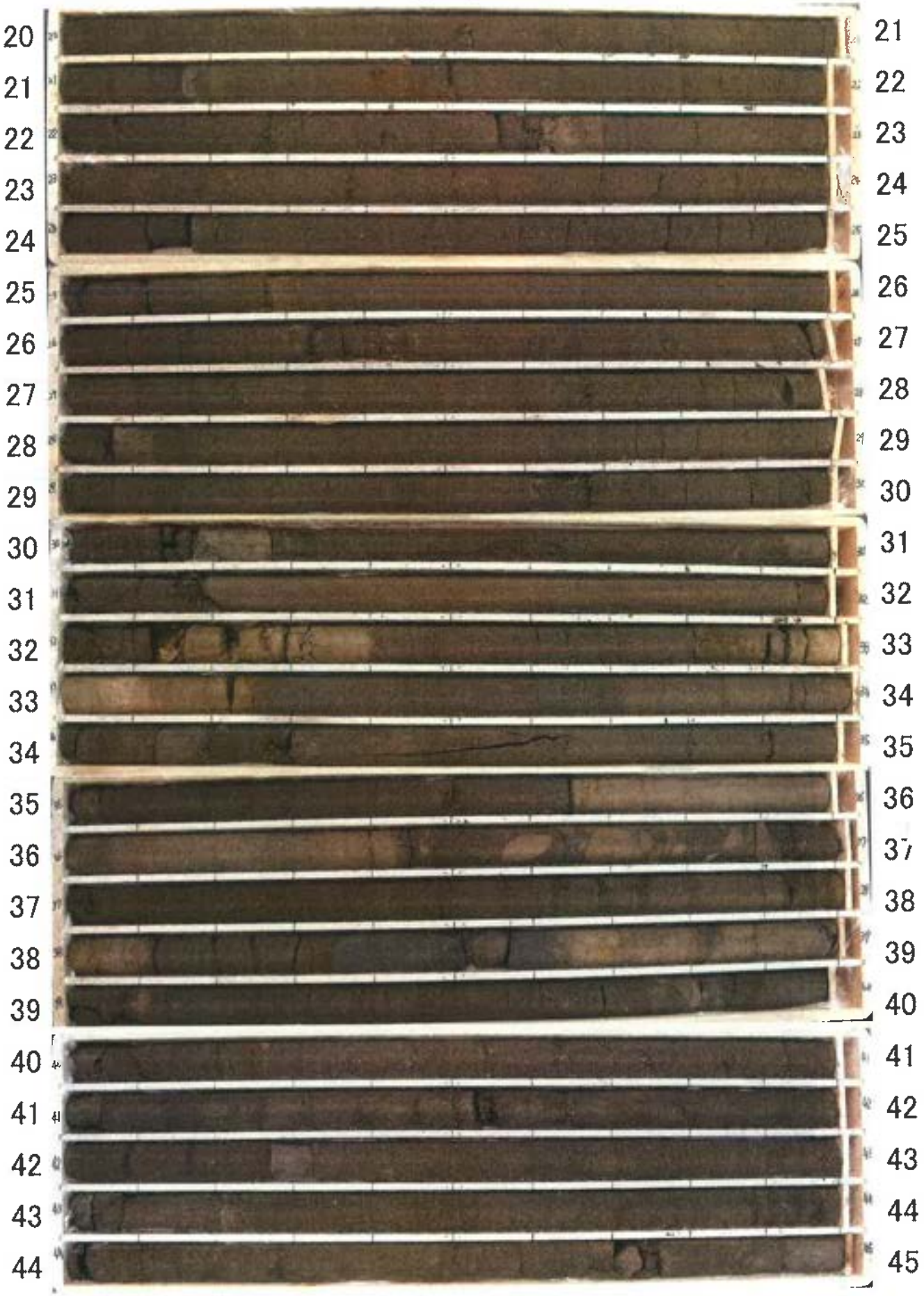
掘進 月日

コア写真

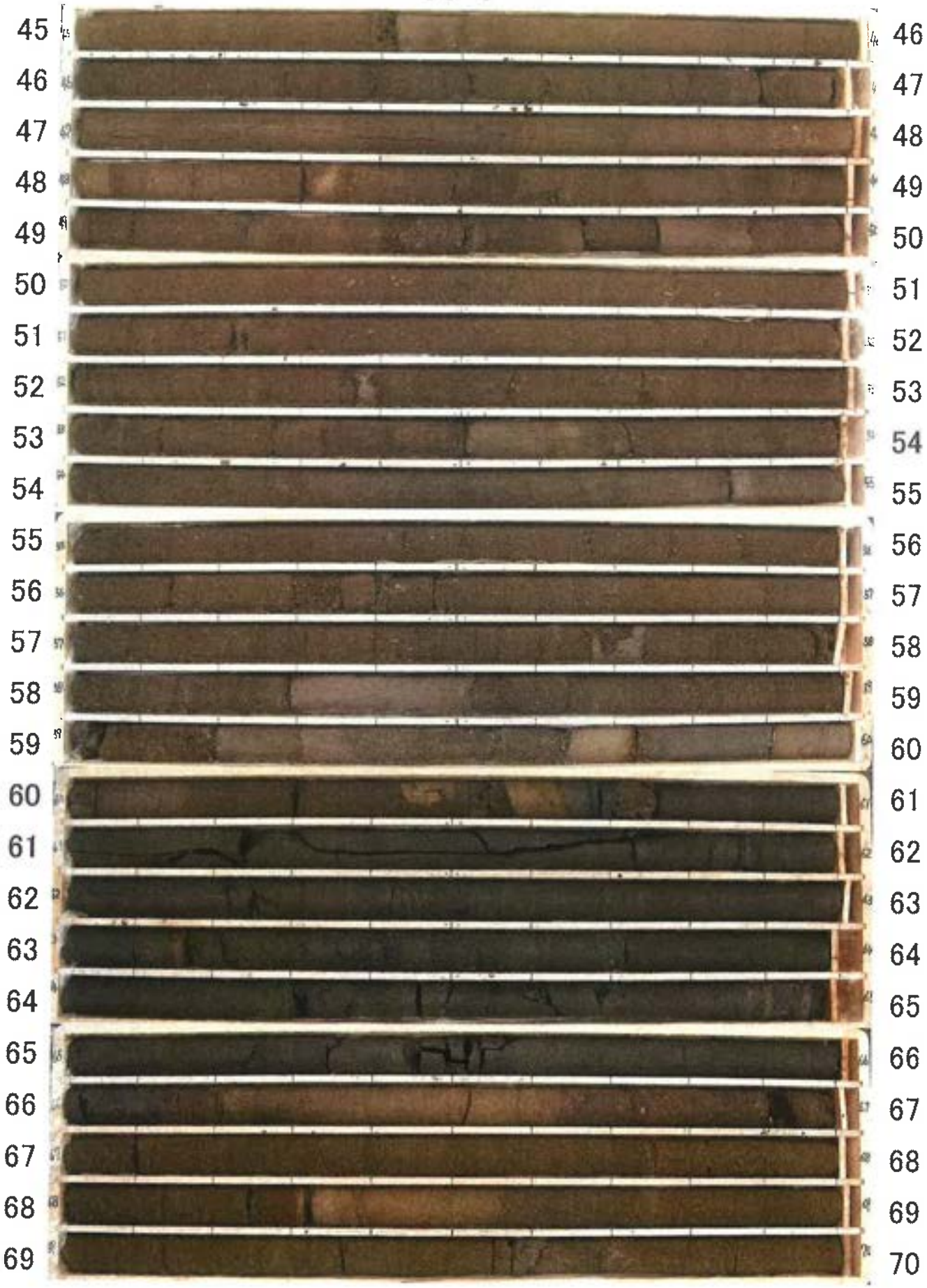
No.1


0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20

No.1


20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45

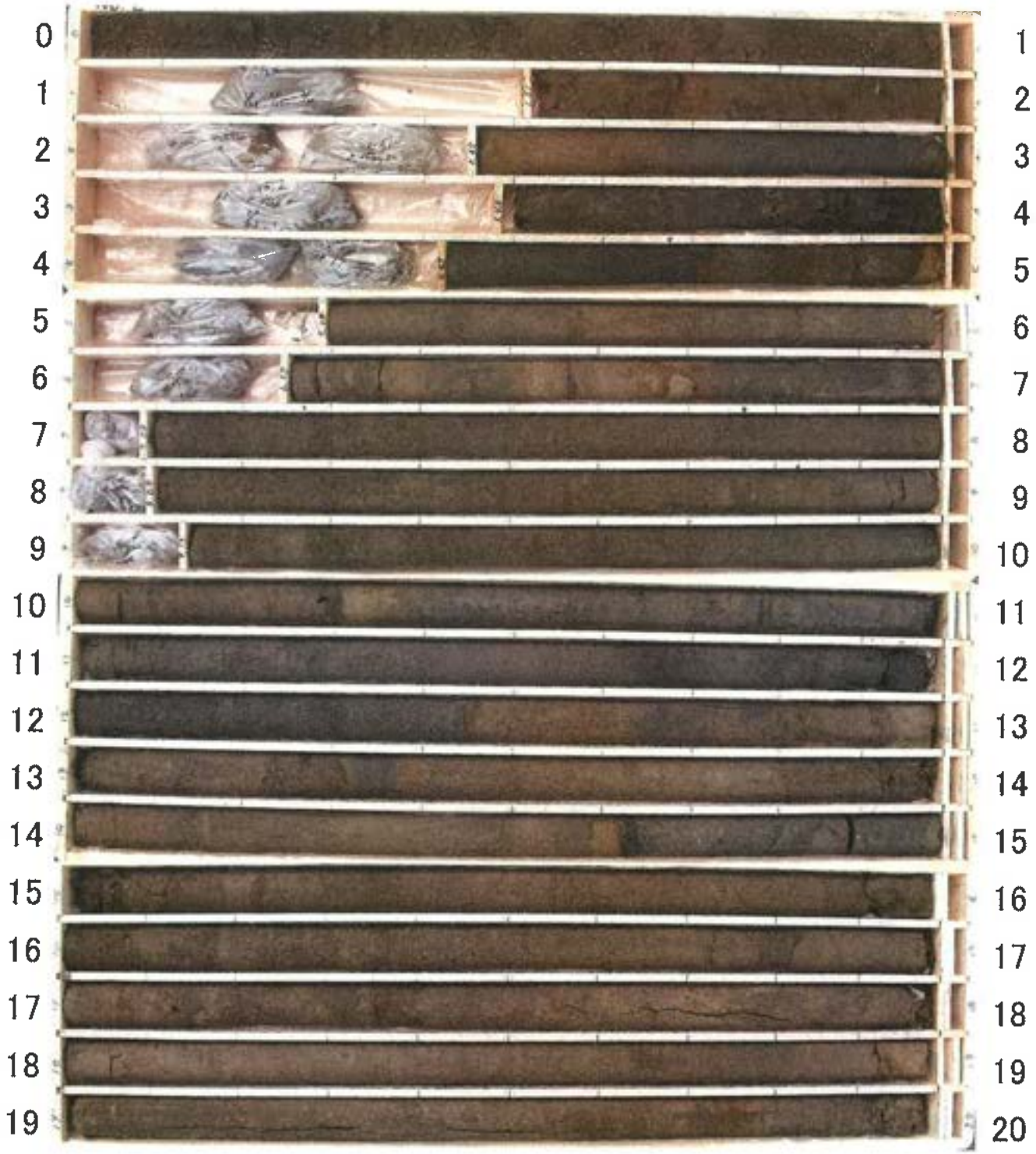
No.1


45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70

No.1


70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90

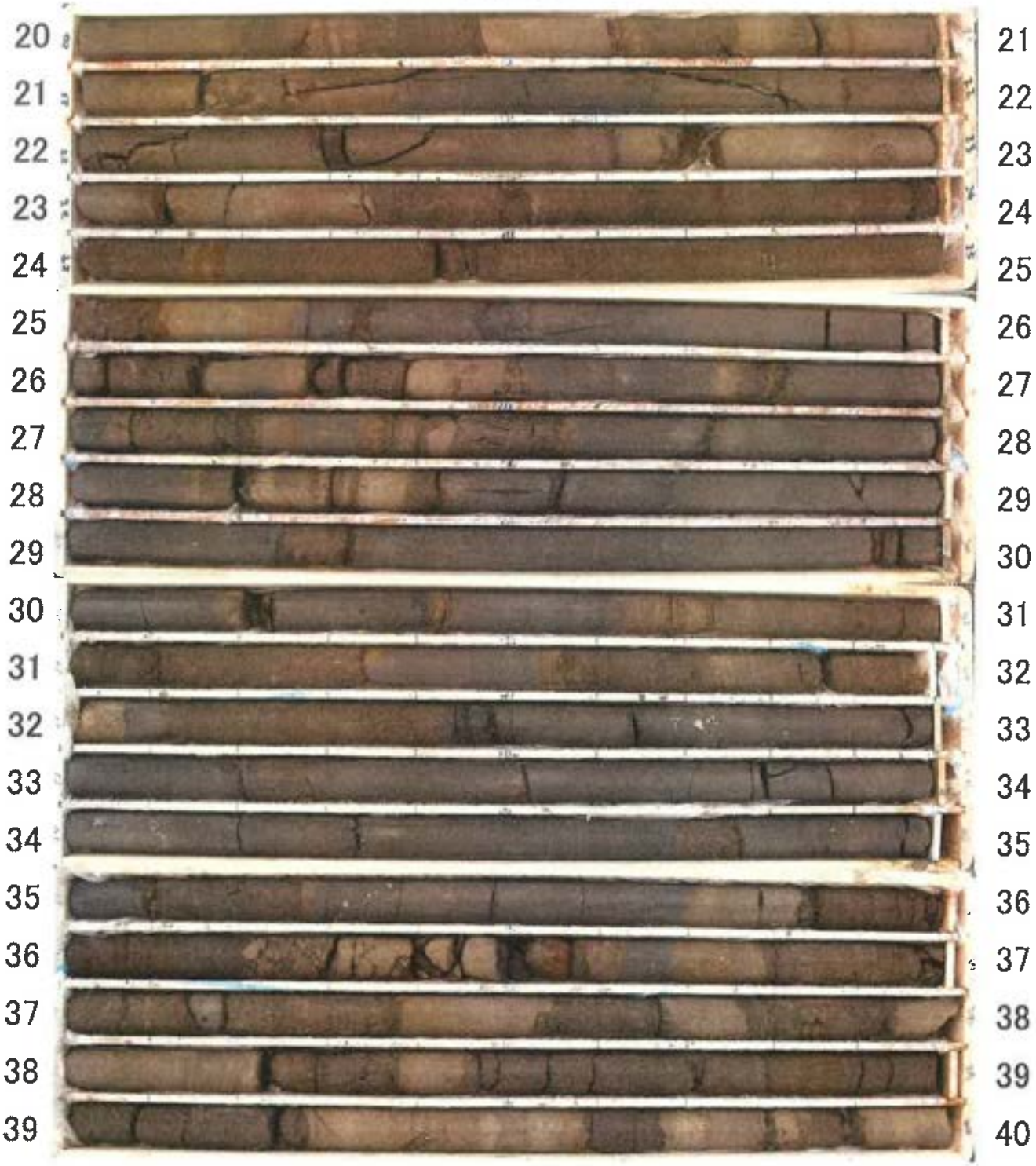
No.2


0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20

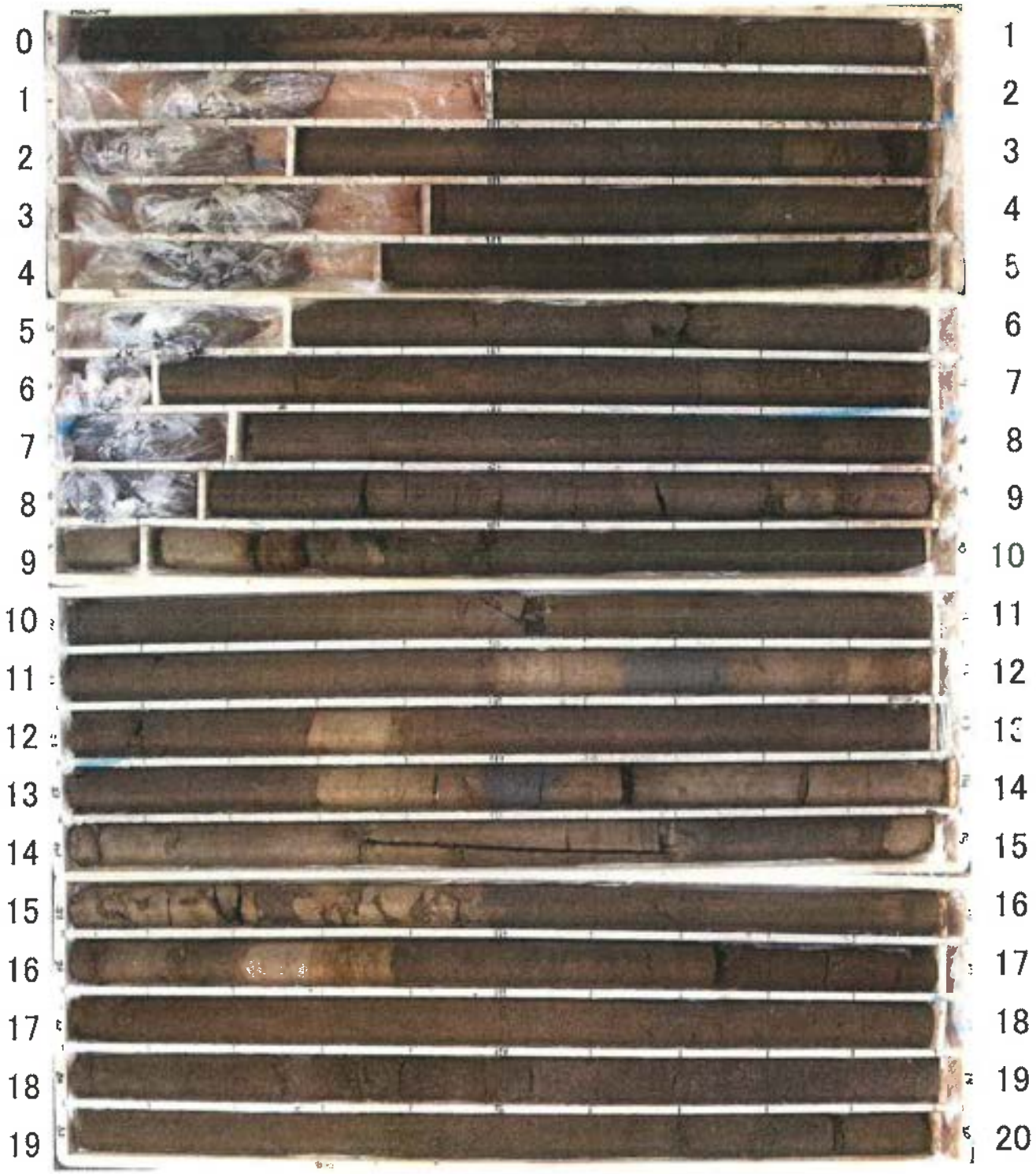
No.3


0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20

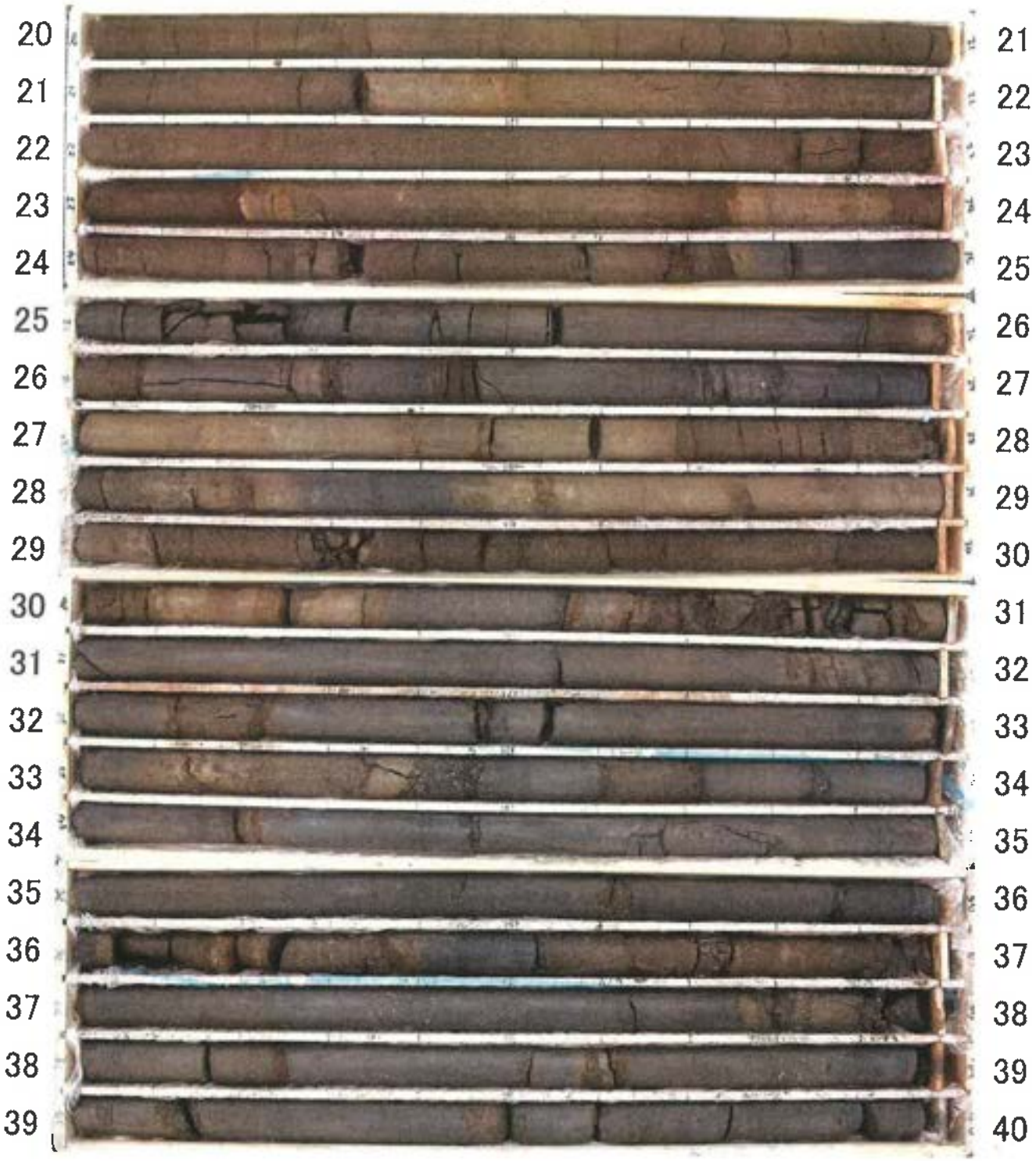
No.3


20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40

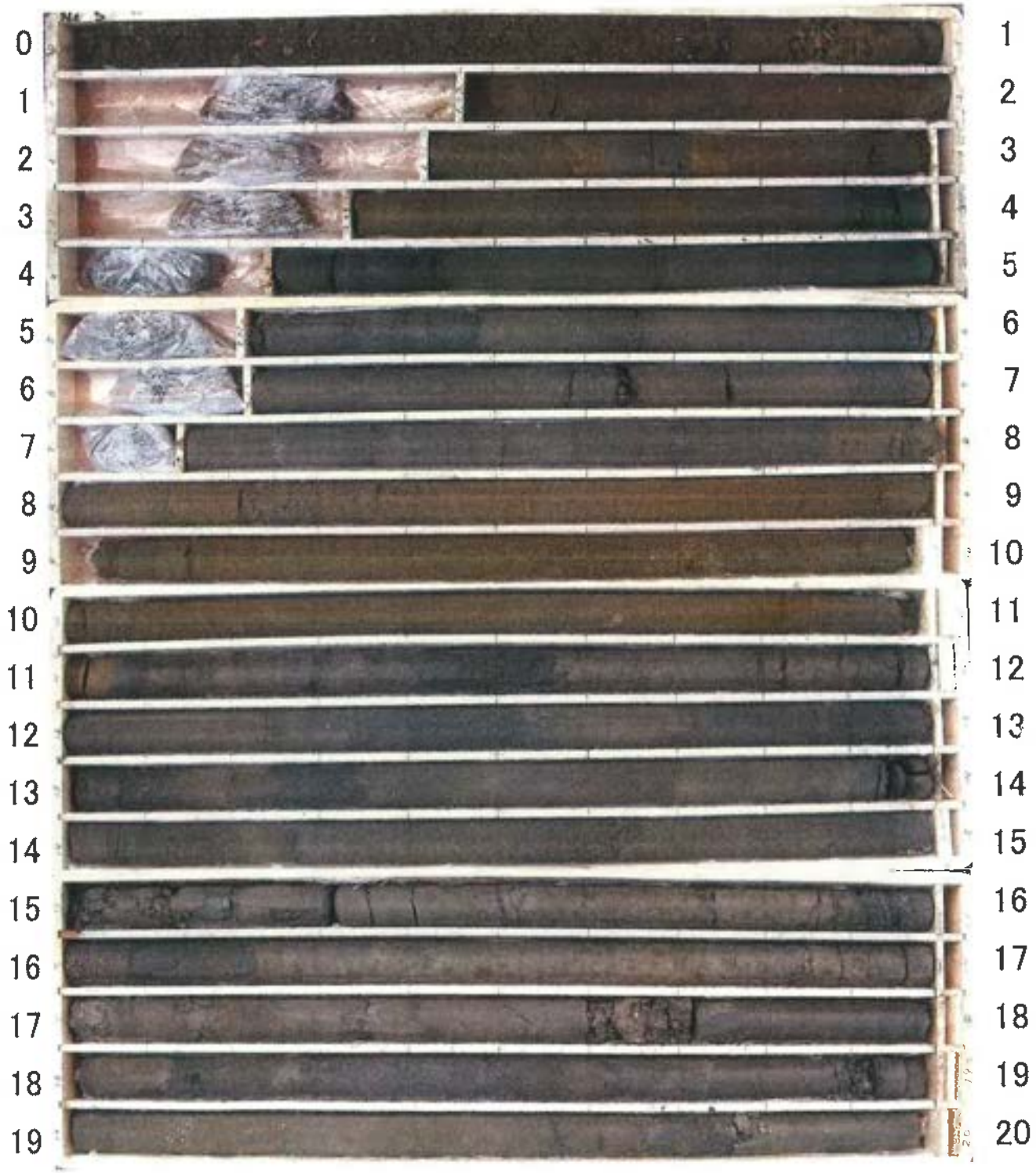
No.4


0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20

No.4


20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40

No.5


0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20

No.6

No.7


No.7
0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20

No.7


20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35

現場透水試験データ

現場透水試験（注水法）

調査名：千葉県君津環境整備センター増設工事

試験年月日：平成24年1月31日

地点番号：No.2-5.00m

試験者：[redacted]

試験区間（GL－m）	5.00～7.00	試験区間の長さ　Lcm	200.0	試験区間孔の直径　Dcm	6.6
測定用パイプの内径 de cm	7.1	平衡水位 h0（GL－ m）	4.39	天　候	晴れ
地　質	砂岩～泥岩	log s～t曲線の直線部の勾配　a 1/s	2.45E-04	透水係数　k cm/s	7.27E-05

ケーシングの立ち上がり m　1.00

経過時間 t (sec)	測定値 (管頭－ m)	孔内水位 h (GL－ m)	平衡水位との水位差 s (cm)	経過時間 (sec)	測定値 (管頭－ m)	孔内水位 (GL－ m)	平衡水位との水位差 s (cm)
0	0.000	-1.00	539.0				
15	0.070	-0.93	532.0				
30	0.115	-0.89	527.5				
45	0.135	-0.87	525.5				
60	0.145	-0.86	524.5				
90	0.175	-0.83	521.5				
120	0.200	-0.80	519.0				
180	0.260	-0.74	513.0				
240	0.310	-0.69	508.0				
300	0.360	-0.64	503.0				
360	0.410	-0.59	498.0				
420	0.465	-0.54	492.5				
480	0.505	-0.50	488.5				
540	0.550	-0.45	484.0				
600	0.590	-0.41	480.0				
900	0.790	-0.21	460.0				
1200	0.980	-0.02	441.0				
1500	1.155	0.16	423.5				
1800	1.315	0.32	407.5				
2100	1.475	0.48	391.5				
2400	1.635	0.64	375.5				
2700	1.770	0.77	362.0				
3000	1.910	0.91	348.0				
3300	2.045	1.05	334.5				
3600	2.175	1.18	321.5				

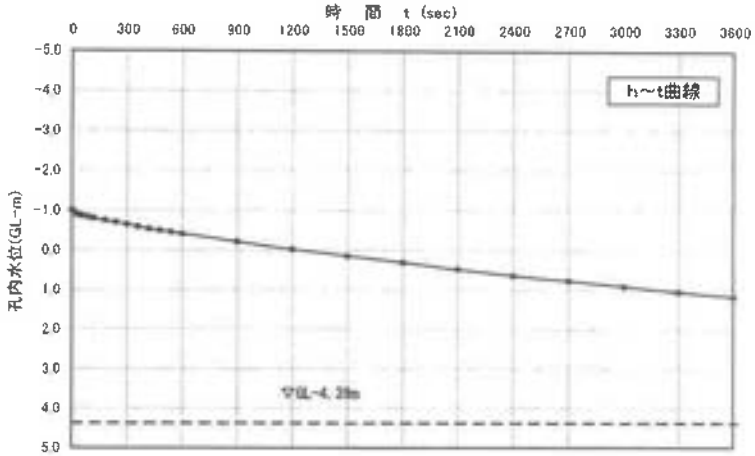
t1=	0
t2=	45
s1=	539.0
s2=	525.5

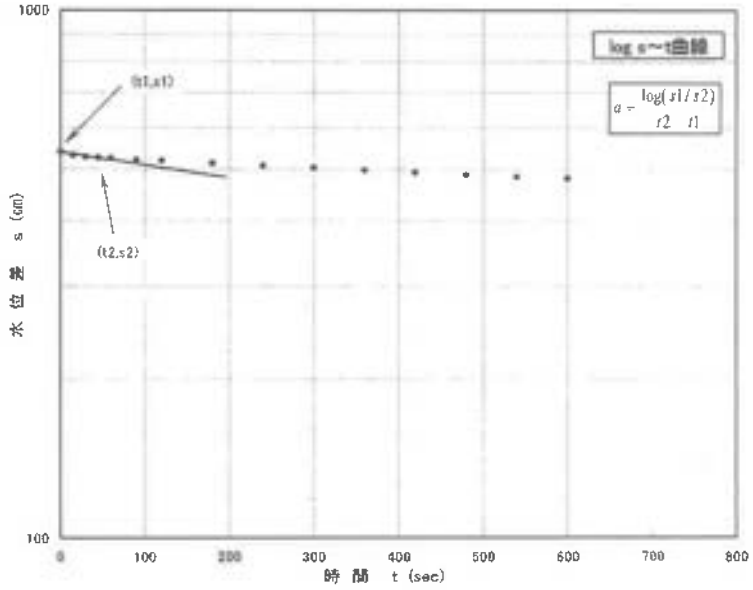
※透水係数算定式

〈不圧帯水層の場合〉
$k=(2.3de)^2/8L\cdot\log(2L/D)\cdot a$

〈被圧帯水層の場合〉
$k=(2.3de)^2/8L\cdot\log(4L/D)\cdot a$

ただし，L/D≧4





現場透水試験（注水法）

調査名：千葉県君津環境整備センター増設工事

試験年月日：平成24年2月2日

地点番号：No.2-13.00m

試験者：[redacted]

試験区間 (GL- m)	13.00～15.00	試験区間の長さ Lcm	200.0	試験区間孔の直径 Dcm	6.6
測定用パイプの内径 de cm	7.1	平衡水位 h0 (GL- m)	15.80	天候	晴れ
地質	砂岩	log s～t曲線の直線部の勾配 a 1/s	8.37E-05	透水係数 k cm/s	2.49E-05

ケーシングの出ち上がり m 1.00

経過時間 t (sec)	測定値 (管頭- m)	孔内水位 h (GL- m)	平衡水位との水位差 s (cm)	経過時間 (sec)	測定値 (管頭- m)	孔内水位 (GL- m)	平衡水位との水位差 s (cm)
0	0.000	-1.00	1600.0				
15	0.145	-0.86	1585.5				
30	0.170	-0.83	1583.0				
45	0.190	-0.81	1581.0				
60	0.220	-0.78	1578.0				
90	0.275	-0.73	1572.5				
120	0.315	-0.69	1568.5				
180	0.420	-0.58	1558.0				
240	0.510	-0.49	1549.0				
300	0.595	-0.41	1540.5				
360	0.670	-0.33	1533.0				
420	0.745	-0.26	1525.5				
480	0.815	-0.19	1518.5				
540	0.895	-0.11	1510.5				
600	0.970	-0.03	1503.0				
900	1.330	0.33	1467.0				
1200	1.655	0.66	1434.5				
1500	1.975	0.98	1402.5				
1800	2.290	1.29	1371.0				

t1=	0
t2=	90
s1=	1600.0
s2=	1572.5

※透水係数算定式

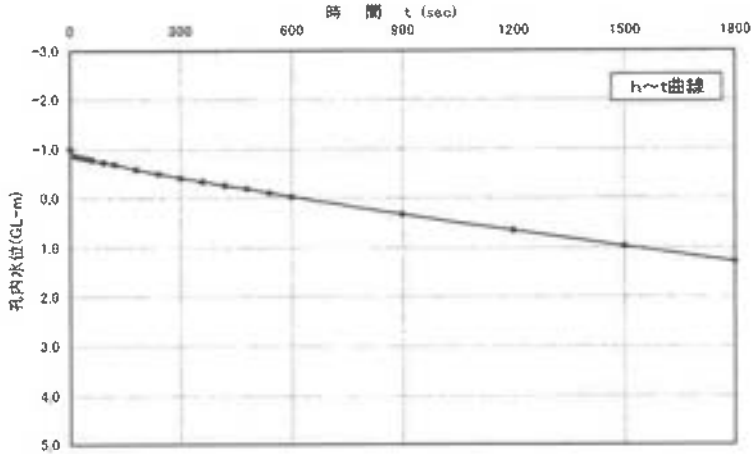
<不圧帯水層の場合>

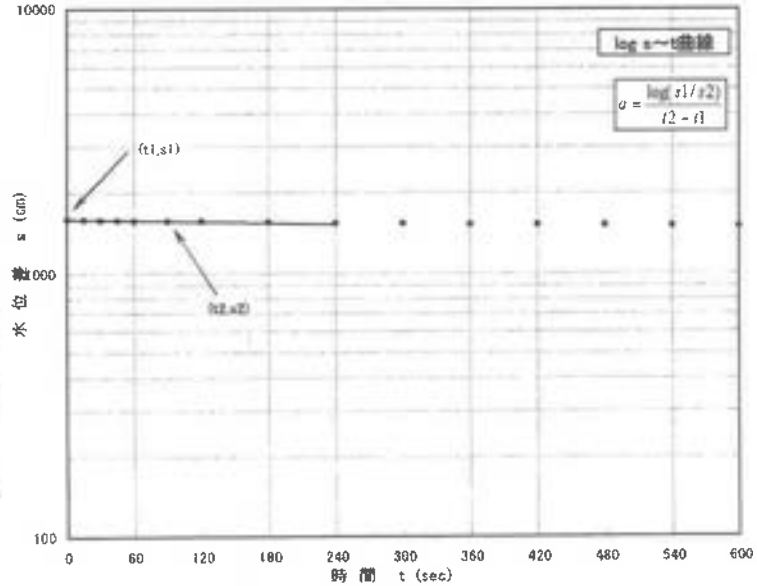
$k=(2.3de)^2/8L\cdot\log(2L/D)\cdot a$

<被圧帯水層の場合>

$k=(2.3de)^2/8L\cdot\log(4L/D)\cdot a$

ただし，L/D≧4





現場透水試験（注水法）

調査名：千葉県君津環境整備センター増設工事

試験年月日：平成24年1月29日

地点番号：No.7-4.00m

試験者：[redacted]

試験区間（GL- m）	4.00～6.00	試験区間の長さ L cm	200.0	試験区間孔の直径 D cm	6.6
測定用パイプの内径 de cm	7.2	平衡水位 h0（GL- m）	4.86	天候	晴れ
地質	砂岩泥岩互層～泥岩	log s～t曲線の直線部の勾配 a 1/s	2.73E-04	透水係数 k cm/s	8.35E-05

ケーシングの立ち上がり m　0.10

経過時間 t (sec)	測定値 (管頭- m)	孔内水位 h (GL- m)	平衡水位との水位差 s (cm)	経過時間 (sec)	測定値 (管頭- m)	孔内水位 (GL- m)	平衡水位との水位差 s (cm)
0	0.000	-0.10	496.0				
30	0.100	0.00	486.0				
60	0.190	0.09	477.0				
90	0.280	0.18	468.0				
120	0.370	0.27	459.0				
180	0.540	0.44	442.0				
240	0.700	0.60	426.0				
300	0.850	0.75	411.0				
360	1.000	0.90	396.0				
420	1.150	1.05	381.0				
480	1.290	1.19	367.0				
540	1.420	1.32	354.0				
600	1.560	1.46	340.0				
900	2.140	2.04	282.0				
1200	2.620	2.52	234.0				
1500	3.020	2.92	194.0				
1800	3.360	3.26	160.0				
2100	3.650	3.55	131.0				
2400	3.900	3.80	106.0				
2700	4.130	4.03	83.0				
3000	4.270	4.17	69.0				
3300	4.370	4.27	59.0				
3600	4.480	4.38	48.0				
5400	4.960	4.86	0.0				

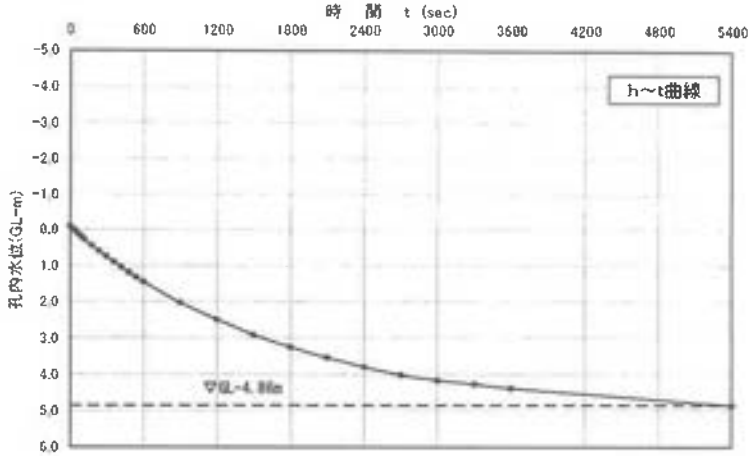
t1=	0
t2=	600
s1=	496.0
s2=	340.0

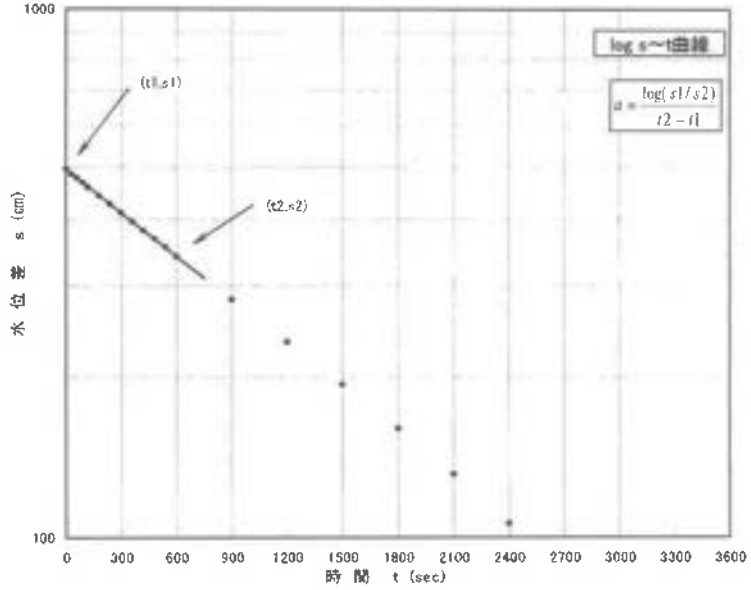
※透水係数算定式

〈不圧帯水層の場合〉
$k=(2.3de)^2/8L\cdot\log(2L/D)\cdot a$

〈被圧帯水層の場合〉
$k=(2.3de)^2/8L\cdot\log(4L/D)\cdot a$

ただし，L/D≧4





現場透水試験（注水法）

調査名：千葉県君津環境整備センター増設工事

試験年月日：平成24年1月29日

地点番号：No.7-7.90m

試験者：[redacted]

試験区間 (GL- m)	7.90～10.00	試験区間の長さ Lm	210.0	試験区間孔の直径 Dm	6.6
測定用パイプの内径 de m	7.2	平衡水位 h0 (GL- m)	9.42	天候	晴れ
地質	砂岩泥岩互層	log s～t曲線の直線部の勾配 a 1/s	4.09E-04	透水係数 k cm/s	1.21E-04

ケーシングの出ち上がり m　0.20

経過時間 t (sec)	測定値 (管頭- m)	孔内水位 h (GL- m)	平衡水位との水位差 s (cm)	経過時間 (sec)	測定値 (管頭- m)	孔内水位 (GL- m)	平衡水位との水位差 s (cm)
0	5.360	5.16	426.0				
30	5.490	5.29	413.0				
60	5.600	5.40	402.0				
90	5.700	5.50	392.0				
120	5.810	5.61	381.0				
180	6.010	5.81	361.0				
240	6.200	6.00	342.0				
300	6.400	6.20	322.0				
360	6.590	6.39	303.0				
420	6.750	6.55	287.0				
480	6.900	6.70	272.0				
540	7.050	6.85	257.0				
600	7.200	7.00	242.0				
900	7.800	7.60	182.0				
1200	8.300	8.10	132.0				
1500	8.700	8.50	92.0				
1800	8.950	8.75	67.0				
2100	9.010	8.81	61.0				
2400	9.100	8.90	52.0				
2700	9.170	8.97	45.0				
3000	9.220	9.02	40.0				
3300	9.260	9.06	36.0				
3600	9.310	9.11	31.0				
4200	9.390	9.19	23.0				
4800	9.450	9.25	17.0				
5400	9.500	9.30	12.0				
6000	9.550	9.35	7.0				
7200	9.620	9.42	0.0				

t1=	0
t2=	600
s1=	426.0
s2=	242.0

※透水係数算定式

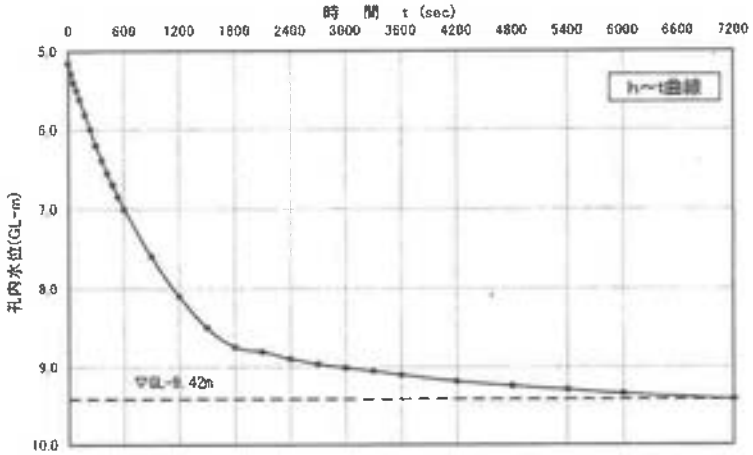
<不圧帯水層の場合>

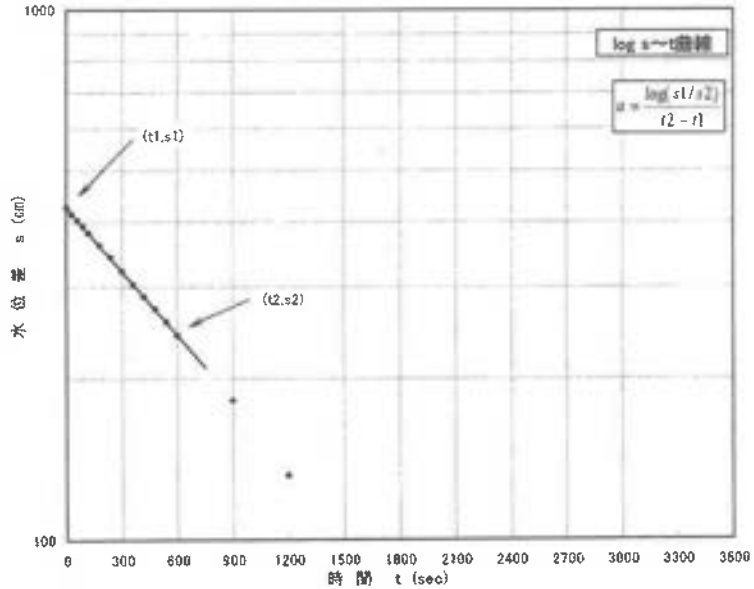
$k=(2.3de)^2/8L\cdot\log(2L/D)\cdot a$

<被圧帯水層の場合>

$k=(2.3de)^2/8L\cdot\log(4L/D)\cdot a$

ただし，L/D≧4





現場透水試験（注水法）

調査名：千葉県君津環境整備センター増設工事

試験年月日：平成24年1月29日

地点番号：No.7-10.00m

試験者：[redacted]

試験区間 (GL- m)	10.00～12.30	試験区間の長さ Lcm	230.0	試験区間孔の直径 Dcm	6.6
測定用パイプの内径 dw cm	7.2	平衡水位 h0 (GL- m)	11.70	天候	晴れ
地質	砂岩泥岩互層～砂岩	log s～t曲線の直線部の勾配 a 1/s	6.40E-04	透水係数 k cm/s	1.76E-04

ケーシングの立ち上がり m 0.10

経過時間 t (sec)	測定値 (管頭- m)	孔内水位 h (GL- m)	平衡水位との水位差 s (cm)	経過時間 (sec)	測定値 (管頭- m)	孔内水位 (GL- m)	平衡水位との水位差 s (cm)
0	7.600	7.50	420.0				
30	7.790	7.69	401.0				
60	7.970	7.87	383.0				
90	8.140	8.04	366.0				
120	8.330	8.23	347.0				
180	8.600	8.50	320.0				
240	8.870	8.77	293.0				
300	9.100	9.00	270.0				
360	9.320	9.22	248.0				
420	9.510	9.41	229.0				
480	9.670	9.57	213.0				
540	9.830	9.73	197.0				
600	9.970	9.87	183.0				
900	10.480	10.38	132.0				
1200	10.800	10.70	100.0				
1500	11.030	10.93	77.0				
1800	11.160	11.06	64.0				
2100	11.270	11.17	53.0				
2400	11.340	11.24	46.0				
2700	11.400	11.30	40.0				
3000	11.430	11.33	37.0				
3600	11.470	11.37	33.0				
4200	11.510	11.41	29.0				
4800	11.530	11.43	27.0				
5400	11.550	11.45	25.0				

t1=	0
t2=	300
s1=	420.0
s2=	270.0

※透水係数算定式

<不圧帯水層の場合>
$k=(2.3de)^2/8L\cdot\log(2L/D)\cdot s$

<被圧帯水層の場合>
$k=(2.3de)^2/8L\cdot\log(4L/D)\cdot s$

ただし，L/D≧4